KONAMI

RJ250

取扱説明書

ドレミッコ

TM



DISK SYSTEM

ファミリー コンピュータ ディスク システム

このたびはコナミの「ドレミッコ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
プレイされる前にこの説明書をお読みいただきますと、より一層楽しく遊べます。正しい使用法でご愛用ください。

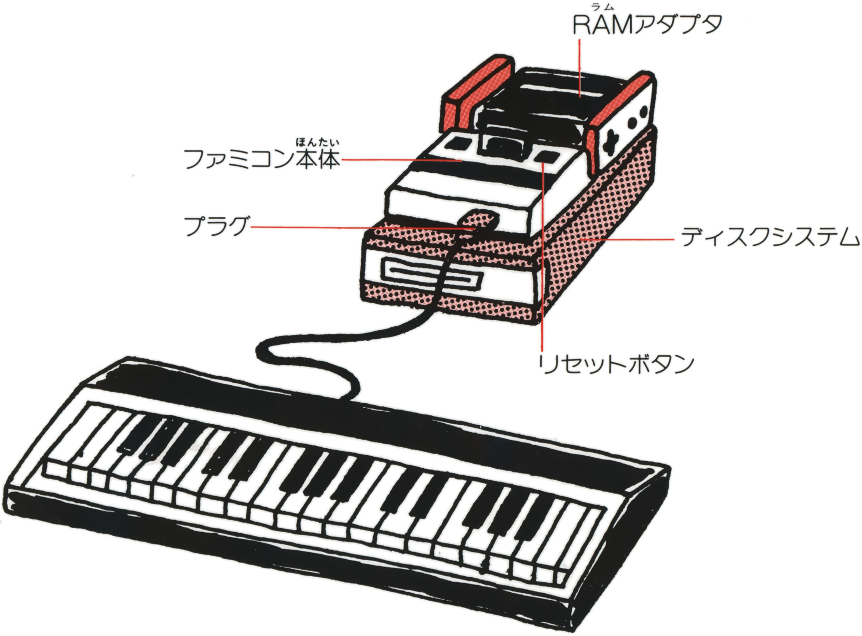


ドレミッコ™

もくじ

ドレミッコで遊ぶ前の準備

キーボードの接続法



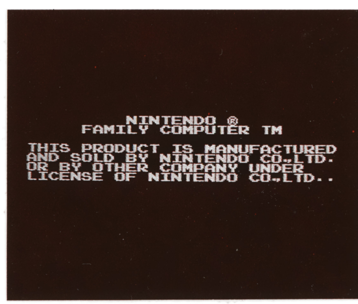
● ファミリーコンピューター本体とRAMアダプタ、ディスクドライブを正しく接続したら、キーボードのプラグをファミコン本体のエキスパンドコネクターに差し込んでください。

●キーボードを接続したら、本体のPOWERをONにします。正しく接続していれば、マリオとルイージが追いかけっこをする画面が出てくるので、ディスクカードのSIDE Aを上にしてセットしてください。画面が出てこない時は、もう一度最初から接続を確かめ、セットし直してみましょう！





●“NOW LOADING…”という表示のあと、右のような画面が出てきます。SIDE Aが上になっていないと出てきません。このあと、タイトル画面に変わります。

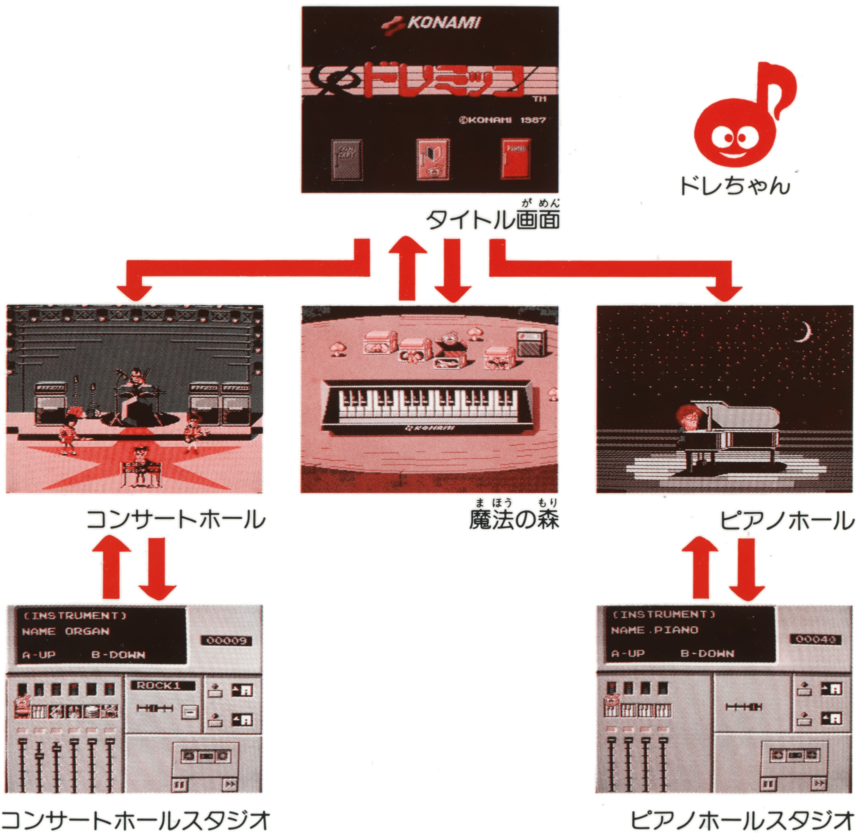


●もしもエラーメッセージが出て、起動しなければ35ページを見て対処してください。

ディスクドライブの赤ランプが、ついているときは、EJECTボタンや、本体のRESETボタン、電源スイッチにさわらないで！説明書をよく読もう。

ドレミッコの全体構成

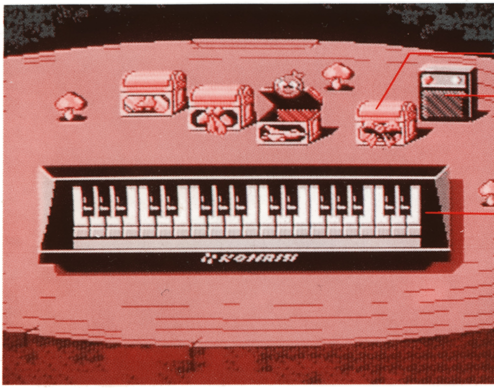
ドレミッコは誰でも音楽を楽しむことができるように考えられた、本格的な音楽ソフトです。初めてキーボードを弾こうとする人でも、簡単に演奏できる「魔法の森」モードを初めとする、５つのモードから構成されています。



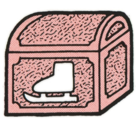
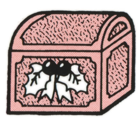
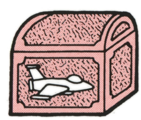
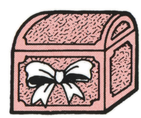
- タイトル画面で自分が行きたい扉に“ドレちゃん”を✚コントロールボタンで移動させ、STARTボタンを押します。メッセージが出たらSIDE Bにしてください。

“魔法の森”で弾ける力を授かろう！

タイトル画面で、中央の初心者マークがついた扉を選ぶと、“魔法の森”に行くことができます。ここでは誰でも簡単に音楽を楽しめるようにつくられています。



画面にある宝箱にはそれぞれにちがった曲が入っています。

曲目	 スケーターワルツ	 ジングル・ベル	 グラディウス	 ハッピーバースディー
難度	★★★	★★	★★★★★	★

✚コントロールボタンで演奏したい曲の入った宝箱にドレちゃんを移動させ、Ⓐ又はⒷボタンを押します。（この時メッセージが出たらSIDE Aにして下さい。）再び画面が出てきたら準備OKです。

スイッチパネルについて

"魔法の森" モードでは、SELECTボタンを押すと画面下にスイッチパネルが表示されます。（もう一度押すともとの画面にもどります。）

スイッチパネル

リターンボタン



（ドレちゃん）　音色ウィンドウ　テンポフェーダ

※✚コントロールボタンで移動させます。

リターンボタン……ドレちゃんをセットし、Ⓐ又はⒷボタンを押すと、"魔法の森"からタイトル画面に戻ることができます。

音色ウィンドウ……ドレちゃんをセットし、Ⓐ又はⒷボタンを押してゆくと、音色が変わります。

音色の種類

1. ピアノ	6. シタール	11.シンセ1
2. オルガン	7. ギター	12.シンセ2
3. ハープシコード	8. バンジョー	13.クラリネット
4. トランペット	9. フルート	14.ビブラホン
5. バイオリン	10.こと	

テンポフェーダ……ドレちゃんをセットし、Ⓐボタンを押すと、曲のテンポが速くなり、Ⓑボタンを押すと遅くなってゆきます。曲を自分に合った速度で演奏できるよう調整できます。

伴奏に合わせて演奏しよう

選曲が終り、準備ができたら画面右上のスピーカーにドレちゃんをセットし、Ⓐ又はⒷボタンを押して下さい。
スピーカーに赤いランプがつき、キーボードの音が出せるようになります。
STARTボタンを押すと、選曲した音楽の伴奏が流れ、ガイド用鍵盤に弾く場所が表示されます。
赤色は次に押さえる鍵盤、黄色がメロディーと同じタイミングの鍵盤です。

模範演奏を聞こう

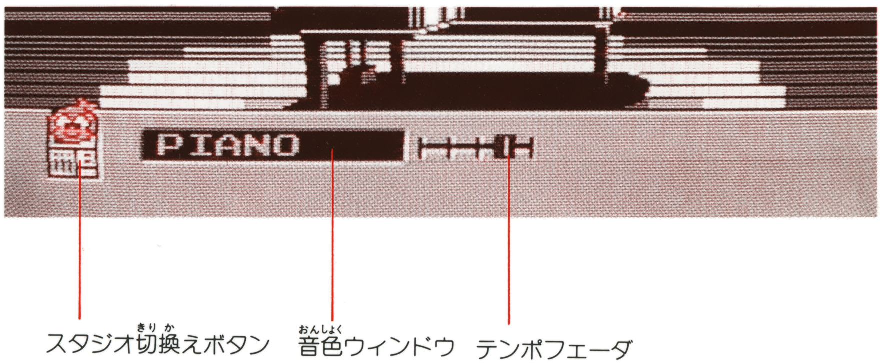
いきなり自分で演奏する自信のない人は、画面のスピーカーのランプが消えている状態でSTARTボタンを押すと、自動演奏で曲を聞くことができます。（ガイド用鍵盤の表示はされますがキーボードの音は出せません。）



“ピアノホール”は上品に

タイトル画面で右の赤い扉を選ぶと、そこは君のソロ・コンサート会場です。ピアノホールでは、４音まで同時に音を出せるため、和音での演奏も可能で、キーボードがピアノの様に演奏できます。

スイッチパネル



ピアノホール画面でSELECTボタンを押すと、画面下にスイッチパネルが表示されます。✚コントロールボタンでドレちゃんを移動させ、それぞれの操作を行なって下さい（もう一度押すと、もとの画面にもどります。）

スタジオ切換えボタン……Ⓐ又はⒷボタンでピアノホールスタジオへ切換えができます。（P11参照）

音色ウィンドウ……………Ⓐ又はⒷボタンを押すと、音色が切換えられ、PIANOかORGANかの選択ができます。

テンポフェーダ……………Ⓐボタンを押すと、テンポが速くなり、Ⓑボタンを押すとテンポが遅くなります。

エフェクト・キー

コントローラーⅡの各ボタンを押すことによって、演奏中にいくつかのエフェクト効果が得られます。（ただし自動演奏中はⒶ、Ⓑボタンのみ有効）

Ⓐボタン……………ピッチベンダー（音程を変化させる）効果が得られます。

Ⓑボタン……………ビブラート（音程を周期的に変化させる）効果が得られます。

✚ ◀▶（左右）… オクターブ切換えができます。左を押すと１オクターブ下がり、右で１オクターブ上がります。

✚ ▲▼（上下）…… サスティン（音をのばす）効果が得られます。

自動演奏

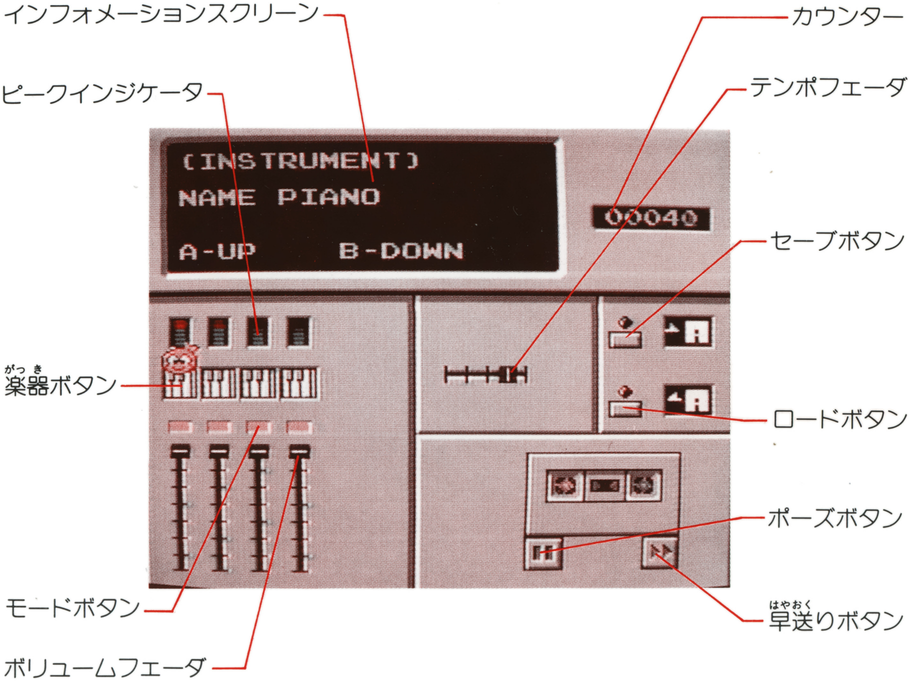
デモ曲がすでにロード済の時（P15参照）、又は自分の演奏をスタジオで録音済の時、STARTボタンを押すと自動演奏で聞くことができます。演奏中もスイッチパネルでの切換えは可能ですが、キーボードで音を出す事はできません。

●デモ曲

1. 子犬のワルツ〔KOINU〕
2. ドレミッコ タイトル曲〔THEME〕

“ピアノホールスタジオ”でレコーディングの練習

ピアノホール画面で、スイッチパネルのスタジオ切換えボタンをセットすると、ピアノホールスタジオに切換わります。
ここでは音色、テンポをセットして、自分の演奏を録音、再生することができます。その録音した曲をディスクに記憶（セーブ）させておくと、一度POWERをオフにしても、後で再生（ロード）できます。



楽器を選ぶ

●楽器ボタンの所に✚コントロールボタンでドレちゃんをセットし、Ⓐ又はⒷボタンを押すと、キーボードの音色が切り換わります。PIANOかORGANかのどちらかを選択して下さい。（4トラック同時にしかセットできません。）

モードを設定する

●モードボタンにドレちゃんをセットしてⒶ又はⒷボタンを押すと、モードが順に切換わります。

TRUCK OFF（トラック オフ）

録音も再生もされない状態です。

RECORDING（レコーディング）

録音ができる状態で、赤ランプがつきます。STARTボタンを押すと、4拍のクリック音が鳴り、録音が始まります。STARTボタンをもう一度押すとストップします。（録音中でもテープがいっぱいになるとストップしてしまいます。）

PLAY BACK（プレイ バック）

再生ができる状態で、黄ランプがつきます。
録音済の曲やデモ曲がクリック音の後、自動再生演奏されます。もう一度スタートボタンを押すとストップします。

ボリュームをセットする

●ボリュームフェーダにドレちゃんをセットして、Ⓐ又はⒷボタンを押すとフェーダが上下します。（ただし、このスタジオでは、一番上と一番下にしかセットできません。）

テンポを決める

●曲の再生時のテンポを、テンポフェーダで自由に変えられます。
Ⓐボタンで速くなり、Ⓑボタンで遅くなります。

テープを一時停止させる

●再生中、または録音中にポーズボタンをONにすると、ランプがつき、一時停止させる事ができます。もう一度押すと、解除されます。Ⓐ又はⒷボタンでオン、オフを操作します。

テープの早送りをする

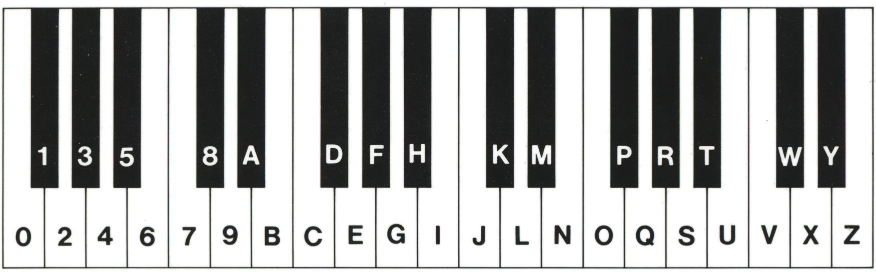
●再生中にドレちゃんを早送りボタンにセットし、Ⓐ又はⒷボタンを押すと倍速でテープがまわります。ボタンをはなすと再生状態にもどります。

演奏曲をセーブする

●自分の演奏を録音した後、これをディスクにセーブ(記録)しておくと、一度POWERをOFFにしても、後でロード（呼び出し）して再び同じものを聞くことができます。

●ドレちゃんをセーブボタンの位置にセットして、Ⓐ又はⒷボタンを押すと、緑色のランプがつきます。

● "INPUT BY KEYBORD" と表示が出たら、キーボードを使ってファイル名を入力します。



●上の図のように鍵盤に合わせた文字が表示されます。ファイル名の順を音で決めるか、文字で決めるかは自由です。

●ファイル名の入力が終わったらSTARTボタンを押します。セーブを中止したい時はSELECTボタンを押します。

● "PLEASE SET SIDE A" と表示されたら、SIDE Aにディスクを入れ変えてください。

●正しくセーブされたら、一瞬 "COMPLETE" が表示された後、セーブ前の画面に戻ります。

演奏曲のロード

- デモ曲としてあらかじめ入っている曲や、セーブした演奏曲を聞きたい時は、ドレちゃんをロードボタンにセットし、Ⓐ又はⒷボタンを押すと緑色のランプがつきます。
- ✣コントロールボタンの▲▼（上下）を押すと、インフォメーションスクリーンにセーブされているファイル名が次々と表示されます。
  ファイル名を音で聞きたい時はⒶ又はⒷボタンを押して下さい。
- ファイル名を選択したら、ロードする前にかならずSIDEAを上に入れておいて下さい。曲のデータは、全てSIDEAに入っています。
- ディスクが正しくセットされていることをたしかめてからSTARTボタンを押すとロードされます。正しくロードされたら一瞬“COMPLETE”が表示された後、元の画面に戻ります。
- ロードを中止したい時は、SELECTボタンを押して下さい。



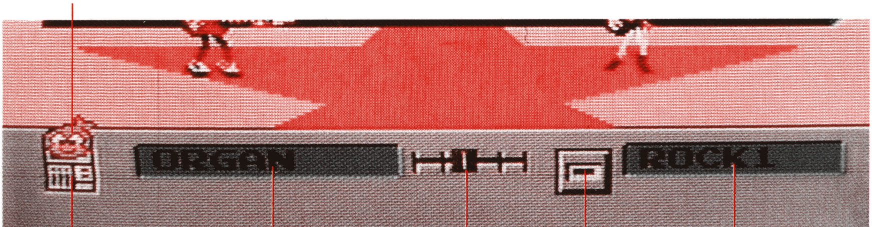
"コンサートホール"で君もスターだ！

タイトル画面で左の青い扉を選んだ君は今日からスーパースター。
バックミュージシャンを従えて、ステージを楽しもう！

自分たちのサウンドをつくろう

コンサートホールでは、キーボードの音色、テンポ、ワンキー操作でのリズムが選択でき、組み合わせ方で色々なサウンドづくりが可能です。
コンサートホールの画面が出たらSELECTボタンを押して下さい。
スイッチパネルが表示されるので、✚コントロールボタンでドレちゃんを移動させ、それぞれを設定操作して下さい。

スイッチパネル



スタジオ切換えボタン……Ⓐ又はⒷボタンを押すと、コンサートホールスタジオ(P20参照)に切換わります。

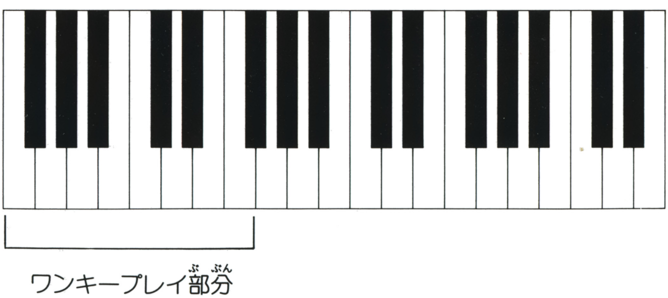
音色ウィンドウ…………Ⓐ又はⒷボタンを押すと音色が変わります。SELECTボタンで元の画面にもどると、一度画面が消え、プレイヤーが楽器を変えて登場します。

テンポフェーダー………自動演奏時やワンキープレイ時などのテンポの調節を行います。Ⓐボタンを押すと速くなり、Ⓑボタンを押すと遅くなります。

ワンキーボタン…………Ⓐ又はⒷボタンを押すと青ランプがつき、ワンキープレイが可能になります。

ワンキープレイについて

一ケ所の鍵盤を押すとリズムウィンドウで選択中のリズムで自動伴奏ができます。キーボードの図の部分がワンキープレイ用の鍵盤になります。



★鍵盤を一ケ所だけ押さえると、押さえた音を基本にしたメジャーコードで伴奏します。マイナーコードでの伴奏をするには、基本になる音よりも低い音の鍵盤を同時に押します。

リズムウィンドウ………Ⓐ又(また)はⒷボタンを押(お)すとリズムの選択(せんたく)ができます。SELECT(セレクト)ボタンを押(お)すと、一度(いちど)画面(がめん)が消(き)え、新(あたら)しいリズムのバックミュージシャンが現(あらわ)れます。

リズムの種類(しゅるい)

1. ロック1
2. ロック2
3. 16ビート
4. レゲエ
5. スウィング
6. ボサノバ
7. サンバ
8. タンゴ
9. ワルツ
10. ボレロ
11. スローロック
12. カントリー&ウエスタン



エフェクト・キー

コントローラーⅡの各ボタン操作で演奏中にいくつかのエフェクト効果がかけられます。(但し、自動演奏中は、Ⓐ、Ⓑボタンのみ有効)

Ⓐボタン……………チョーキング(音程を変化させる)効果が得られます。
Ⓑボタン……………ビブラート(音程を周期的に変化させる)効果が得られます。
✥◀▶(左右) … オクターブ切換えができます。左を押すと1オクターブ下がり、右を押すと1オクターブ上がります。
✥▲▼(上下) …… サスティン(音をのばす)効果が得られます。

自動演奏

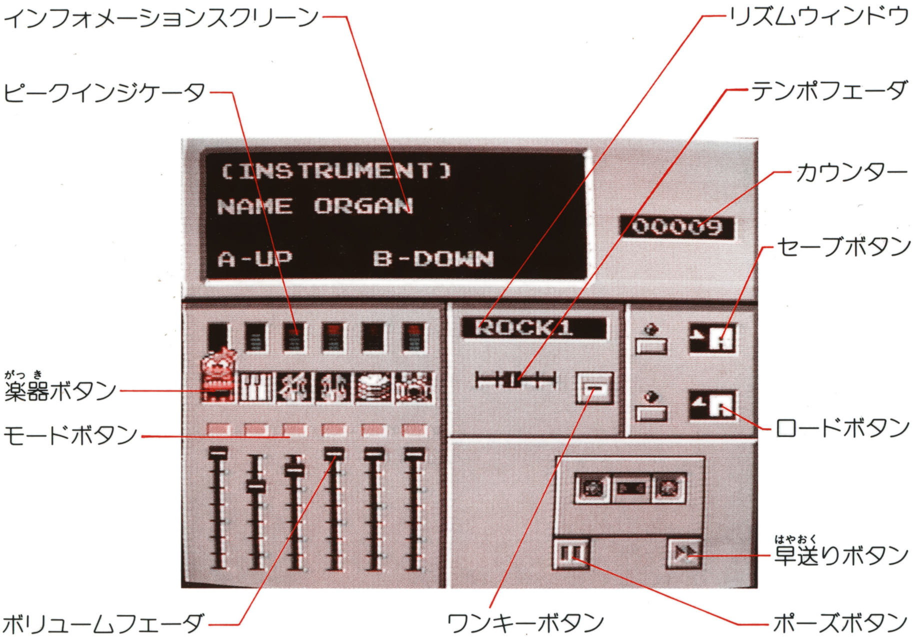
デモ曲がすでに選曲済の時、又は自分の演奏をスタジオで録音済の時、STARTボタンを押すと、自動演奏で聞くことができます。演奏中もスイッチパネルでの切換えが可能で、キーボードで音を出すことも可能です。

●デモ曲

1. グラディウス〔GRADIUS〕
2. スケーターワルツ〔SKATER〕

“コンサートホールスタジオ”で本格的なサウンドを

コンサートホール画面でスイッチパネルのスタジオ切換えボタンをセットすると、コンサートホールスタジオに切換わります。
このスタジオでは、ピアノホールスタジオの機能に加え、マルチトラックレコーディングやワンキープレイの機能があり、これらの組み合わせで数多くのサウンドレコーディングが可能です。

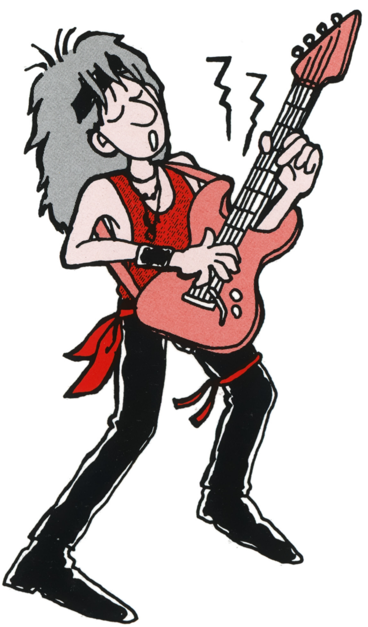


マルチトラックレコーディング機能

このスタジオでは、6トラックのマルチトラックレコーディングが可能です。各トラックを別々に録音し、後で同時に再生することや、すでに録音してあるトラックを聞きながら別のトラックに録音することもできます。

楽器を選ぶ

全部で6つのトラックごとに別々の楽器がセットできます。各トラックごとの特長を生かし、自分だけの音楽を楽しんで下さい。セット方法は“ピアノホールスタジオ”と同じ操作ですが、トラックごとにセットしてゆきます。
赤い色のついたトラックは、キーボードとつながっている所です。左端より第1～第6トラックとします。



第1トラック

6トラック中、一番リアルな音色が出せ、楽器の種類も多いので、メロディー用に適しています。

- バンジョー
- クラリネット
- トランペット
- フルート
- ビブラホン
- バイオリン
- こと
- ピアノ
- シタール
- シンセサイザー1
- オルガン
- ギター
- シンセサイザー2
- ハープシコード

第2、3トラック

どちらも音色は同じなので和音の伴奏やサブメロディーに適しています。

- ピアノ
- オルガン
- バイオリン
- ギター
- シンセサイザー
- トランペット

第4トラック

ベース専用のトラックで音が短く切れるベース音と、長く伸ばすベース音が選択できます。

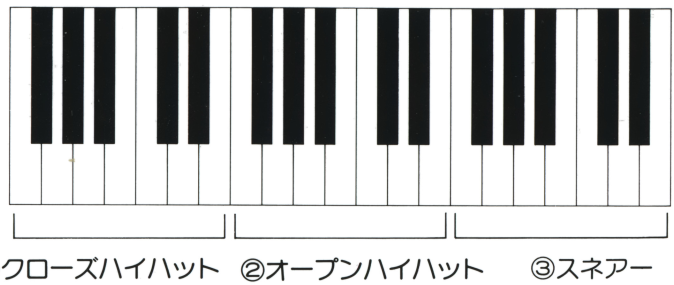
- ベース
- アルコ

第5トラック

このトラックは第6トラックと共にリズム楽器（ドラム）として使用します。キーボードの鍵盤を分けて同時に複数の音色を使用できます。



〔キーボードへの楽器割り当て〕

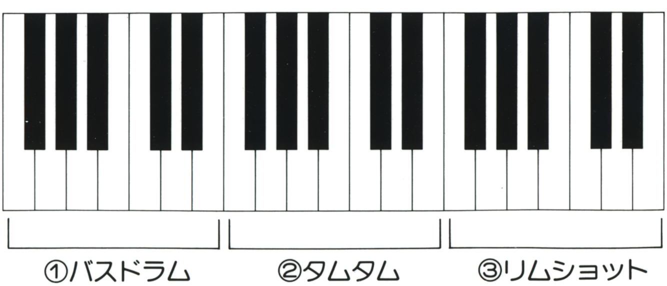


第6トラック

第5トラックと同じですが、音色が異なります。

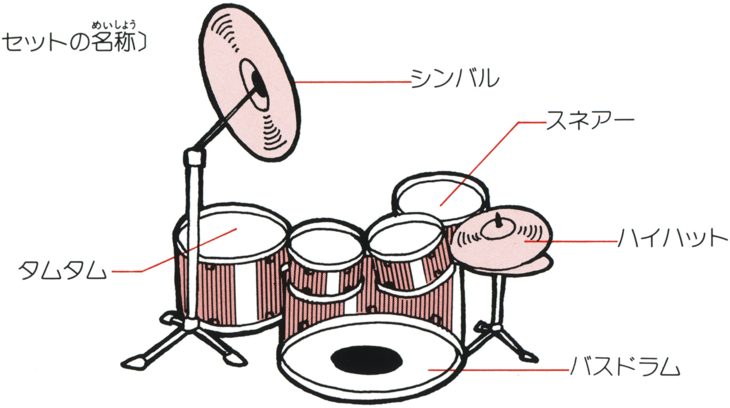


〔キーボードへの楽器割り当て〕



リムショット…スネアーのふちをスティックでたたく音

〔ドラムセットの名称〕



モードを設定する

- 操作法は、“ピアノホールスタジオ”と同じです。インフォメーションスクリーンにも操作法が表示されますから、参考にして下さい。正し、マルチトラックレコーディングの場合は、各トラックごとにモード設定できますから、トラック別の録音、再生をしたり、いくつかのトラックを再生しながら、同時に、あいているトラックに録音することも可能です。録音はキーボードとつながっているトラックにしかできません。
- 録音を中止する時はSTARTボタンを押します。録音途中で他のトラックに切換える事はできません。
- 再生中のトラックでキーボードを弾くと演奏曲が中断され、キーボードの音が出ます。

ボリュームをセットする

操作法はピアノホールスタジオと同じですが、4トラックと6トラック以外のトラックは、細かい設定ができる様になっています。Ⓐボタンで上に、Ⓑボタンで下にフェーダを動かして下さい。

ワンキープレイレコーディング機能

コンサートホールスタジオでは、ワンキープレイを使っての演奏録音ができます。ワンキープレイレコーディングでは、2~6トラック全てを同時にワンキープレイ伴奏に使用し、1トラックをメロディー用トラックとして使用します。キーボード操作は、コンサートホールでの使用法と同じです。
ドレちゃんを画面のワンキーボタンにセットし、Ⓐ又はⒷボタンを押すと、マニュアル→再生→録音→オフの順に切り変わります。

マニュアル MANUAL…………ワンキープレイで演奏だけを楽しむ時には、マニュアルにしておきます。青ランプがつきます。

再生 PLAY BACK…………録音済のワンキープレイを再生させる時にセットします。黄ランプがつき、STARTボタンを押すと再生します。

録音 RECORDING…………ワンキープレイでの録音をする時にセットします。赤ランプがつき、STARTボタンを押すと、クリック音が鳴りますから、演奏を始めて下さい。

オフ OFF…………ワンキープレイモードから、マルチトラックモードに切り換える時にオフにします。

注）デモ曲がロードされている時に、たとえばワンキーボタンを録音モードにして録音しようとすると"MEMORY FULL"が表示され実行できない場合があります。これはデモ曲の6トラック分のデータで録音容量を全部使っているためです。このような場合にはデータを消してもさしつかえないトラックを選んで録音モード（赤）にセットし、STARTボタンを押して下さい。カウンターが1つでも進むと、そのトラックはクリアされ、メモリーがその分あきます。

演奏を自分でアレンジする

ワンキープレイ演奏で録音した伴奏を、トラック別に再生したり、録音し直して、アレンジしてゆくことも可能です。各トラックごとに、モードボタンをセットします。モードは、ワンキープレイ状態を示します。青ランプから、再生(黄)、録音(赤)、オフのモードに変わります。

楽器を選ぶ

基本的には、マルチトラックレコーディングの時と、操作法は同じですが、リズムを変えるとそのリズムによって決められている楽器が表示されます。

リズムを決める

ドレちゃんをリズムウィンドウにセットして、Ⓐ又はⒷボタンを押すとリズムが変わります。ワンキー演奏でのリズムが選べます。リズムの種類は、コンサートホールと同じです。

※テンポフェーダ、ポーズボタン、早送りボタン、セーブボタン、ロードボタンでの操作法は、ピアノホールスタジオと同じです。

※エフェクト効果と操作法についてはコンサートホールと同じです。

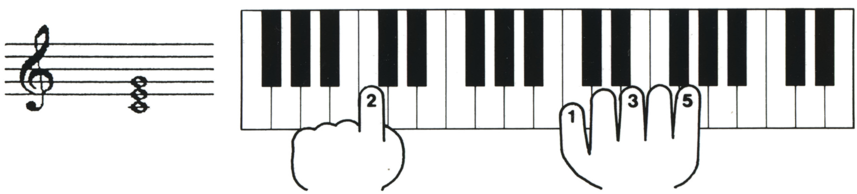
コード表

ここに示すコード（和音）表は、主に使用するものを選び出し掲載してあります。
（※数字のついた指が、押さえる指です。）

コード表につけられた数字は指使いを示します。指の番号と表の番号を合せて弾くと指のはこびがスムーズになり、弾きやすくなりますので参考にしてください。



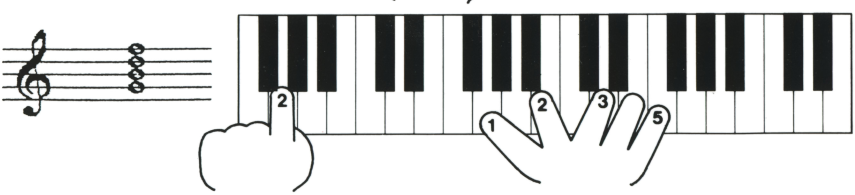
C



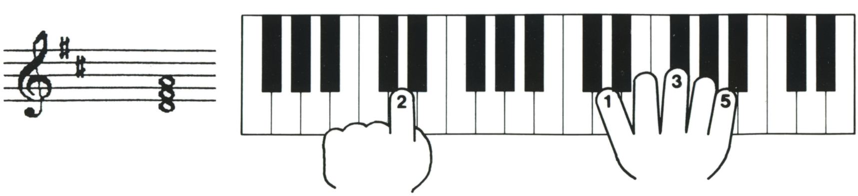
F



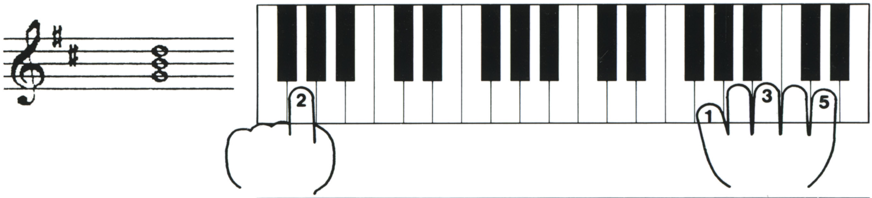
G7



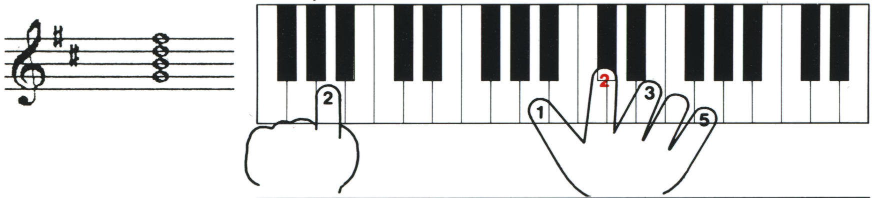
D



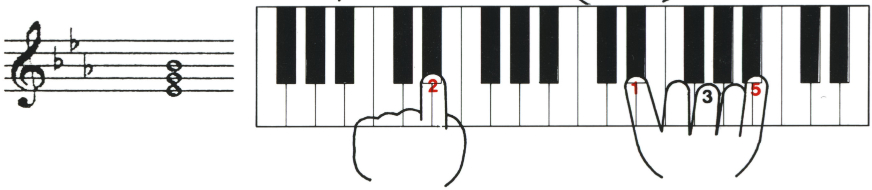
G



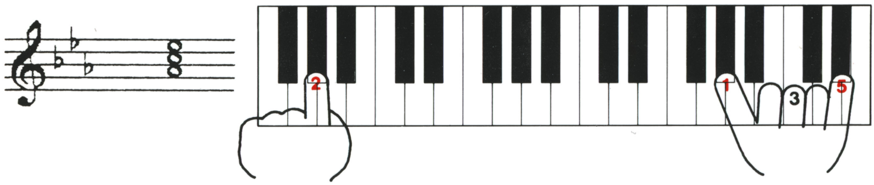
A7



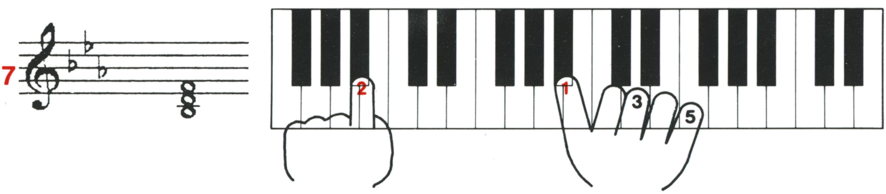
E♭



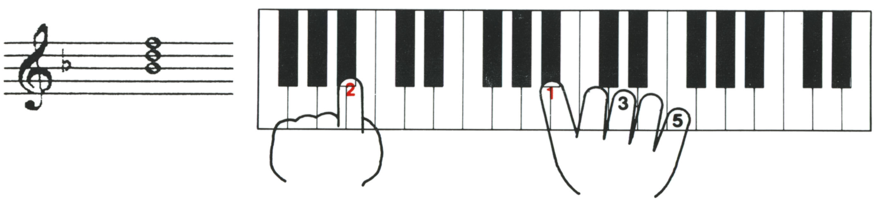
A♭



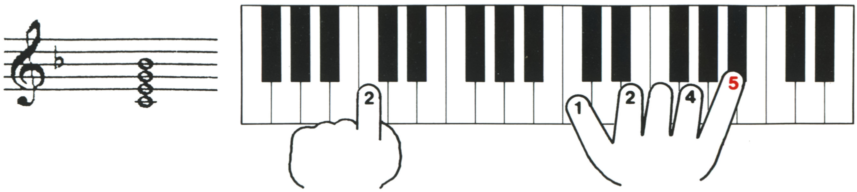
B♭7



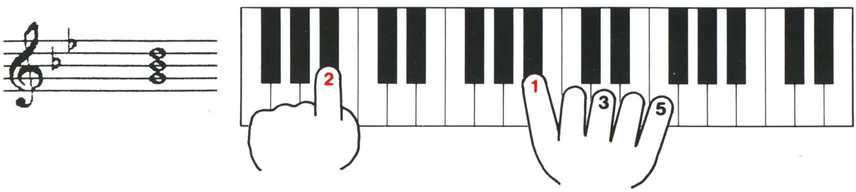
B♭



C7



B♭



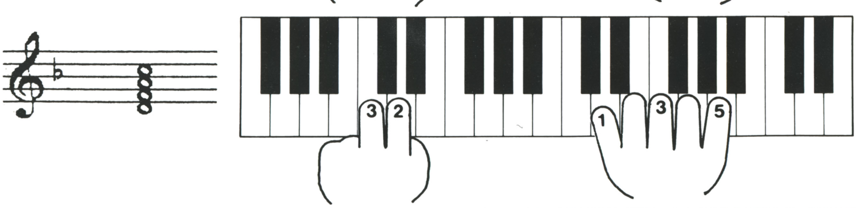
F7



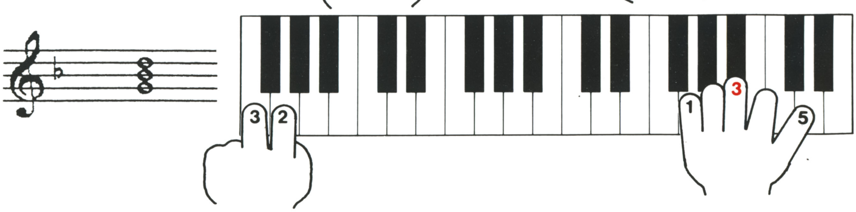
D7



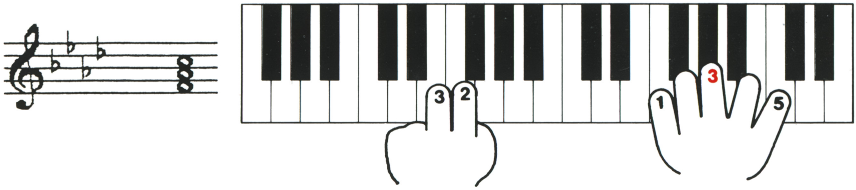
Dm



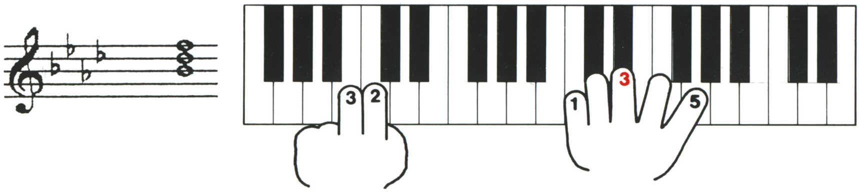
Gm



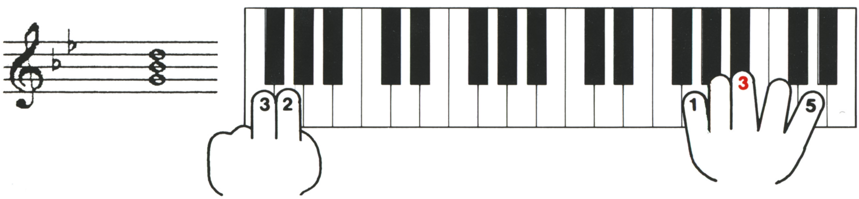
Fm



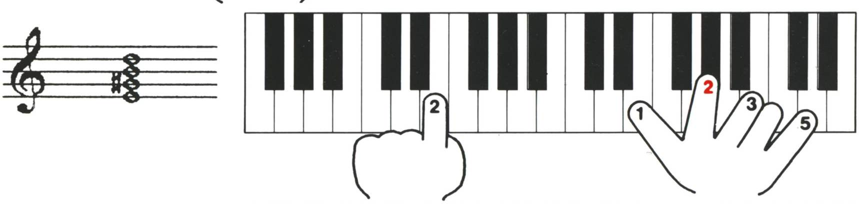
Cm



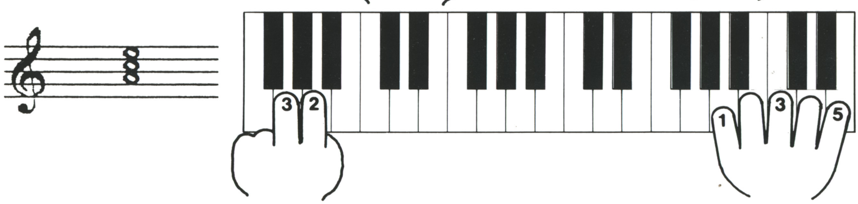
Gm



E7

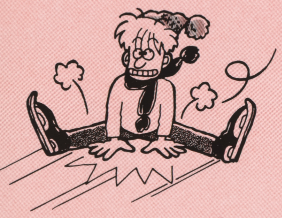


Am



楽譜集

ここには、"魔法の森"モードで宝箱に入っている曲の楽譜がのせてあります。画面のガイド用鍵盤と合わせて練習してください。
「コード表」を見ながら楽譜のコードを弾くと、伴奏もできます。



スケーターワルツ





ジングルベル

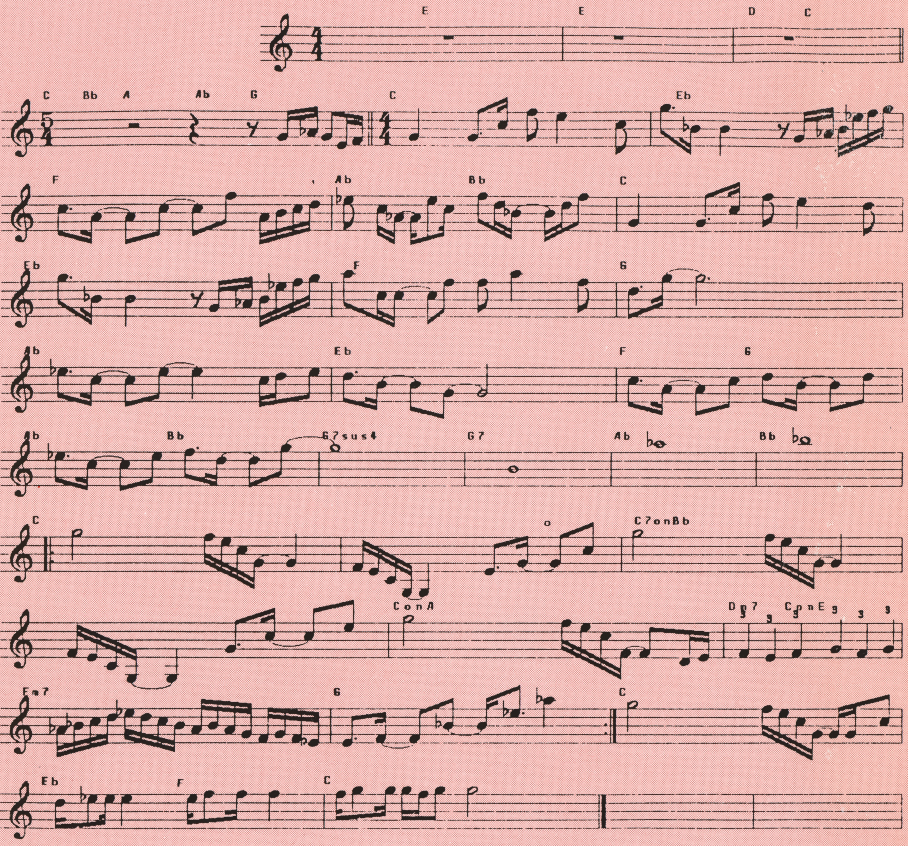


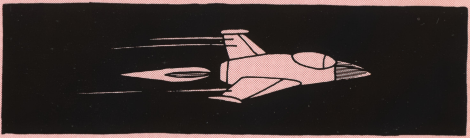


ハッピーバースデー

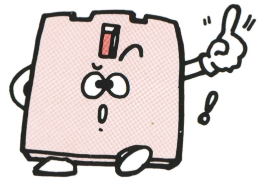


グラディウス


E E D C
C Bb A Ab G C Eb
F Ab Bb C
Eb F G
Ab Eb F G
Ab Bb G7sus4 G7 Ab Bb
C C7onBb
ConA Dm7 ConE
Fm7 G C
Eb F C

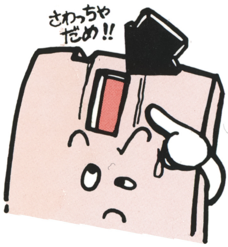


これだけは覚えておいてほしい注意事項



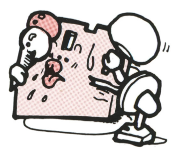
ディスクカードはカセットよりもデリケート。注意事項を守ってやらないと、こわれちゃうぞ。

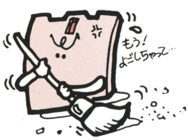
ディスクカードは大切に取り扱おう



ディスクカードの窓から見える茶色の磁気フィルム部分には、絶対に指などで、直接触れないで！それから、その部分を汚したり、傷つけたりしないようにも気をつけよう！

- ディスクカードは、湿気や暑さにはとっても弱い。だから、風通しのよい涼しい場所に保管しよう！





- ゴミゴミしたところは、大キライ！ホコリはディスクカードの大敵なのだ。また、直射日光の当る場所にも置かないように。

- 磁石を近づけると、データが消えちゃうぞ。磁石だけじゃなく、テレビ、ラジオなどにも磁力があるから、近づけないようにしよう。

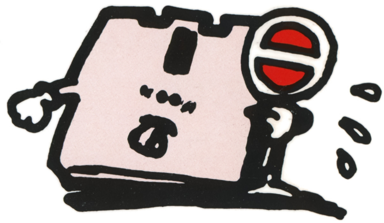




- 折りまげたり、踏んづけたりするのは、もってのほか。いつもプラスティックのケースの中に入れておこう！

ディスクシステムが正常に作動しなくなったときには

ディスクシステムが正常に作動しないときには、画面に異常を知らせるエラーメッセージが表示されるよ。キミのディスクシステムでエラーが出たら、下の表を参考にして原因を調べよう！



エラーメッセージ	内容と対処方法
DISK SET ERR.01	ディスクカードがちゃんとセットされていない。カードを取り出し、もう1度セットしなおそう。
BATTERY ERR.02	ディスクドライブの電圧が規定値以下になっている。乾電池を新しいものと交換しよう。
ERR.03	ディスクカードのツメが折れている。ほかのカードを使うか、ツメのところにテープをはる。
ERR.04	違ったメーカーのディスクカードがセットされている。カードをよく確かめよう。
ERR.05	違ったゲーム名のディスクカードがセットされている。カードのゲーム名をよく確かめよう。
ERR.06	違ったバージョンのディスクカードがセットされている。カードをよく確かめよう。
A.B-SIDE ERR.07	ディスクカードの表と裏が逆にセットされている。
ERR.08	違った順番のディスクカードがセットされている。カードをセットする順番を確かめよう。
ERR.20～	上の方法で処置できないときは、ディスクカードを買ったお店か、発売元へ相談しよう。

キーボードの使用上の注意

1. 必ず電源を切ってから、キーボードをセットして下さい。
2. 故障の原因となりますから、端子部に直接触れないで下さい。
3. キーボードのプラグを外すときは、コードを引っ張らず、必ずプラグを持って外して下さい。
4. コードを物に巻き付けたり、引っ張ったりすることは、絶対にやめましょう。
5. 精密機械ですので、強いショック、極端な温度・湿気・日射での使用や保管は避けて下さい。
6. キーボード内部に、異物が入らないようにしてください。(水や金属物は感電や故障の原因となることがありますので十分に注意してください。)
7. ほこりっぽいところでの保管は避けて下さい。(故障の原因となるほか、本体の寿命を縮めることになります。)
8. 改造や分解は、事故、故障の原因となることがありますので、絶対にしないでください。
9. お手入れには、シンナーなどの化学薬品を使わないで下さい。(柔らかい布をうすい中性洗剤などに浸し固く絞ってお拭き下さい。)

保証について

●無償修理のご依頼時には、保証書が必要です。保証書の内容を確認し大切に保管して下さい。保証書にお買い上げ年月日、お買い上げ販売店名が、万一記載されていない場合は、ただちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

●修理をご依頼の前に説明書の注意事項を点検していただき、なお異常のある場合は、保証書に所定事項をご記入の上、お買い上げになった販売店もしくは当社が指定する営業所までお送りください。指定する営業所は下記の通りです。

コナミ株式会社

東京本社	〒101	東京都千代田区神田神保町3-25	住友神保町ビル	03(264)5678
大阪支店	〒561	大阪府豊中市庄内宝町1-1-5	コナミ株式会社 大阪支店	06(334)0335
札幌営業所	〒060	北海道札幌市中央区北一条西5-2-9	北一条三井ビル	011(232)3778
福岡営業所	〒810	福岡県福岡市中央区天神2-8-30	福岡天神第一生命ビルディング	092(715)2367

保証規定

取扱説明書等に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理します。
保証期間中でも、次の場合には修理は有償となります。

a) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
b) お買い上げ後の取り付き場所の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
c) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷。
d) 風害、塩害等による故障及び損傷。
e) 本書の提示がない場合。
f) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文句を書き換えられた場合。

この保証書は日本国内でのみ有効です。
本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

修理メモ

保　証　書

品　名		ドレミッコ
型式番号		RJ 250
製造番号		D＿＿＿＿＿7
お買い上げ年月日		昭和　　年　　月　　日
保証期間		6ヶ月
お客様	ご住所	〒 TEL　（　　）
	お名前	
お買い上げ店	住所	
	店名	印
修理する部分及び故障内容を記入してください。		

※本保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。

コナミ株式会社